【研究に関する情報公開（オプトアウト）】

2026 年 2 月 8 日に開催された第 26 回日本動脈硬化学会教育フォーラムで LEAP-2 研究に参加された方へ

研究課題名

教育フォーラム参加者における PFAS 曝露と HDL コレステロール濃度および HDL 機能に関する研究

（Study of serum PFAS exposure, HDL cholesterol concentration, and HDL functionality among healthy Japanese: The EARTH Study）

1. 研究の目的

近年、日本人において HDL コレステロール（HDL-C）値の上昇が報告されていますが、その要因は明らかではありません。本研究では、環境中に存在する有機フッ素化合物(PFAS)と血中 HDL-C 濃度、HDL 機能（コレステロール引き抜き能等)、および Lp(a)濃度との関連を明らかにすることを目的としています。

2. 研究の対象

2026 年 2 月 8 日に開催された第 26 回日本動脈硬化学会教育フォーラムに参加し、当日採血を受けられた日本人成人（18 歳以上）の方を対象とします。

3. 研究に用いる試料・情報

本研究では、教育フォーラム当日に取得された血液検体の残余試料および既に収集された以下の情報を使用します。

使用する既存情報

１）基本情報：年齢、性別(閉経有無)、Body mass index(BMI)、冠危険因子（家族歴・喫煙歴)、既往疾患（糖尿病、狭心症、急性心筋梗塞、脳梗塞、大動脈瘤、末梢動脈疾患)、内服薬、飲酒習慣、居住地域（都道府県・市町村）

２）臨床検査：

血液生化学検査：総コレステロール、LDL-コレステロール、HDL-コレステロール、中性脂肪、アポ A-I、Lp(a)

新たに測定する項目

有機フッ素化合物（PFAS（PFOS, PFOA, PFHxS, PFNA, PFDA, PFUnA, N-MeFOSAA, 総 PFAS4 種、総 PFAS7 種、単位：ng/mL））

HDL コレステロール、アポリポタンパク質 A-I（アポ A-I)、HDL 機能（コレステロール引き抜き能、PON1 活性）

本研究のために新たな採血は行いません。

4. 試料・情報の管理方法

試料および情報は、氏名などの個人を特定できる情報を削除し、研究用の符号を付与した上で解析を行います。
研究者が個人を特定できることはありません。
対応表は研究代表機関にて厳重に管理され、外部に提供されることはありません。

5. 研究期間

実施許可日～ 2028 年 3 月 31 日

6. 研究成果の公表

研究成果は学会発表や学術雑誌等で公表する予定です。
公表の際には、個人が特定されることはありません。

7. 研究への参加を希望されない場合（オプトアウト）

本研究は、国の倫理指針に基づき、研究内容を公開した上で、対象となる方から研究への参加拒否の申し出があった場合には、その方の試料・情報を研究に用いない「オプトアウト方式」で実施します。
本研究への試料・情報の利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
申し出があった場合には、当該対象者の試料・情報は解析対象から除外いたします。
ただし、すでに研究成果が公表されている場合など、データの削除が困難な場合があることをご了承ください。

8. 研究の資金および利益相反

本研究は、日本動脈硬化学会、弘前大学、東京科学大学の研究費により実施されます。
研究者は各所属機関の規定に基づき利益相反管理を行っています。

9. お問い合わせ先

研究責任者：小倉正恒（順天堂大学医療科学部臨床検査学科・m.ogura.pk@juntendo.ac.jp）
研究事務局：日本動脈硬化学会事務局（jas@j-athero.or.jp）